

保護者の皆様

枚方市立杉中学校
校長 岩木 宏樹

令和元年度学校教育自己診断の結果のお知らせ

初春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育にご理解・ご支援を賜りありがとうございます。

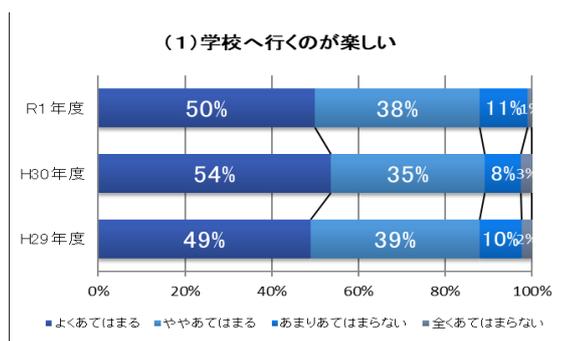
さて、12月にご協力いただきました学校教育自己診断の結果および、その分析についてお知らせいたします。今回の診断結果や昨年度までの結果を基に、これからの学校運営や生徒の学習指導等に生かして参りますので、今後ともご協力、よろしくお願いいたします。

① アンケート回収率 生徒 90.2% (767名/850名)、保護者 73.5% (625名/850名)

※ ご協力ありがとうございました。

② 結果の概要と分析

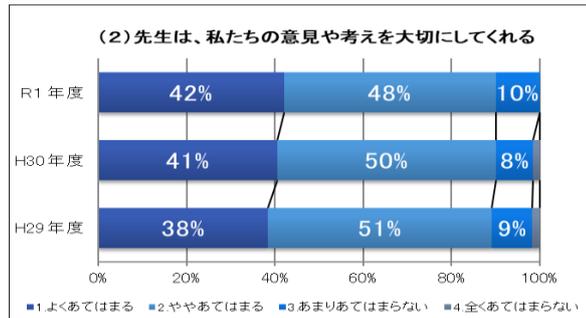
I. 生徒アンケートより



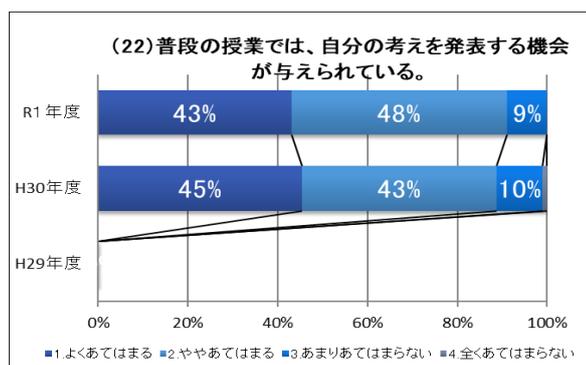
今年度の学校経営目標の一つとして掲げている「めざす生徒像」は以下の通りです。

【めざす生徒像】

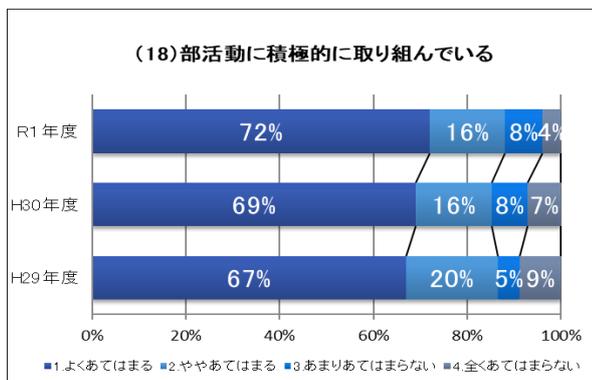
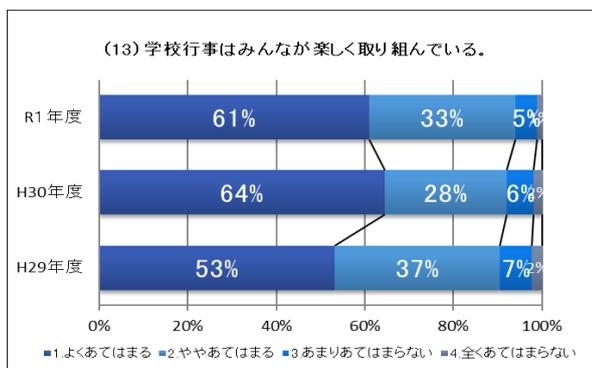
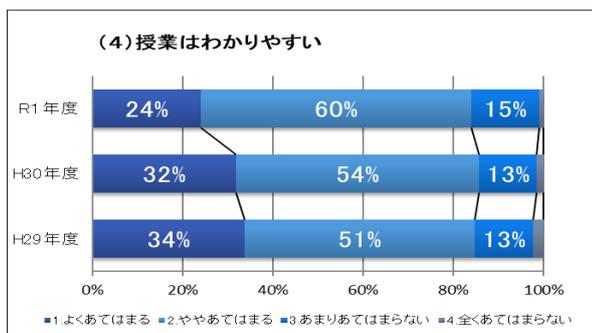
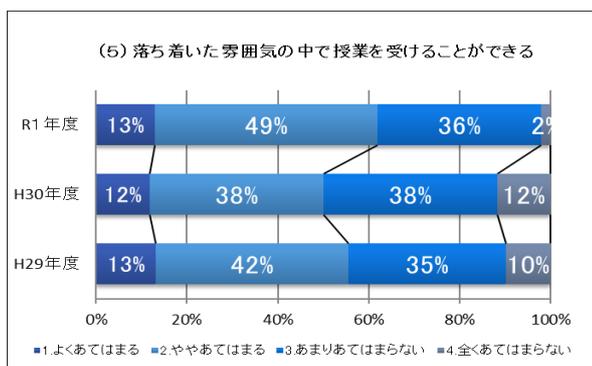
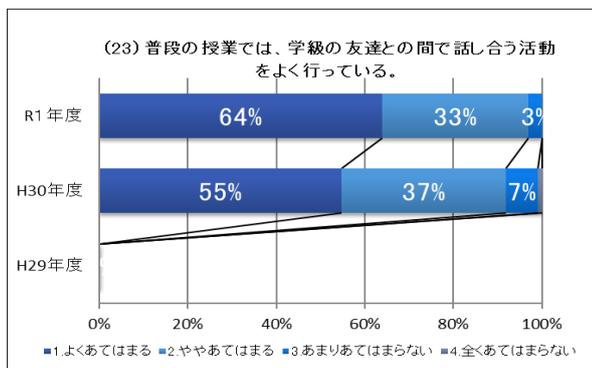
- (1) 感性と創造力豊かな、自ら学ぶ意欲を持つ生徒
 - (2) 自他を大切にし、思いやりと感謝の心を持つ生徒
 - (3) 心身ともに健康で、たくましい生徒
- 人を思い遣る、何事にも努力をする、感謝の心を持つ等、当たり前のことを当たり前に行える生徒。



生徒一人ひとりにきちんと寄り添い、このような生徒たちの育成を目指しております。そこで(1)「学校へ行くのが楽しい」の回答結果が、学校では大きな注目点の一つになるわけですが、例年およそ9割の生徒が肯定的でな回答をしています。しかし、裏を返せば1割の生徒は毎年、学校を「楽しくない」と感じています。(2)「先生は、私たちの意見や考えを大切にしてくれる」の質問でも同様の傾向が見られ、「生徒一人ももらさない」という思いで教員全体で連携し、細やかな指導につなげていきます。



学習指導についてですが、2021年度に向けて現在

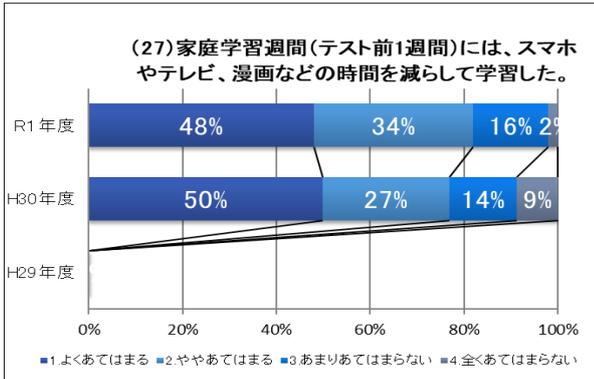
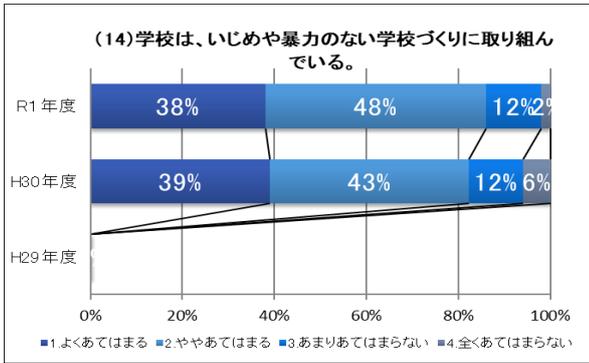


移行期間中の新学習指導要領に掲げられている「主体的で対話的な深い学び」の確立に向けて、本校でも「シンキングツールの活用」、「協同学習」、「自律学習」などの取り組みを行っております。その結果、(22)「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」、(23)「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている」において、右肩上がりに肯定的意見が増えており、計画通りに授業における言語活動を増やせていることがうかがえます。その中で、(5)「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる」において、まだ4割近くの生徒が「落ち着きがない」と判断していますので、課題は多いと言わざるを得ませんが、昨年と比較して12ポイントも肯定的意見が増えたことは評価できる点だと考えております。

しかし、(4)「授業はわかりやすい」の質問において、肯定的意見割合こそ変化していませんが、「よくあてはまる」の数値は昨年比較で8ポイントも減少しています。2021年度に向けての授業改革の中で、授業者としてのスキルを高めていくとともに、生徒たちへも授業において求めるものが変わってきたことを、しっかりと伝える必要があると考えられます。

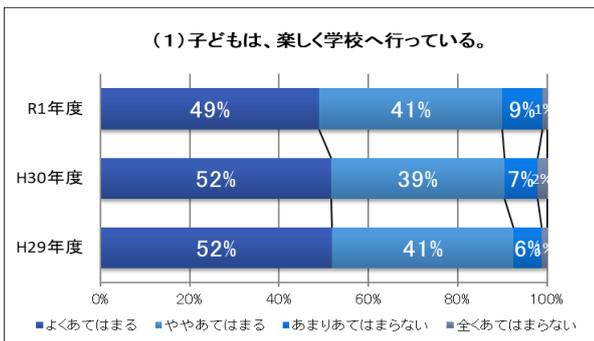
続いて、授業以外の学校生活について報告します。(13)「学校行事はみんなが楽しく取り組んでいる」、(18)「部活動に積極的に取り組んでいる」、それぞれの回答結果に見られるように、基本的に右肩上がりで数値改善は進んでおり、学校行事、部活動ともに90%前後の生徒が楽しく、積極的に活動できていることが分かります。

グラフは裏面になりますが、(14)「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の回答でも肯定的意見が86%（前年比較+6ポイント）と改善しております。残念ながら1月現在、生徒指導事案が1件も発生していないことはありませんが、「落ち着きのある学校」「楽しい学校」についての取り組みを続けて、数年かけて生徒たちも実感してきたと思われま。

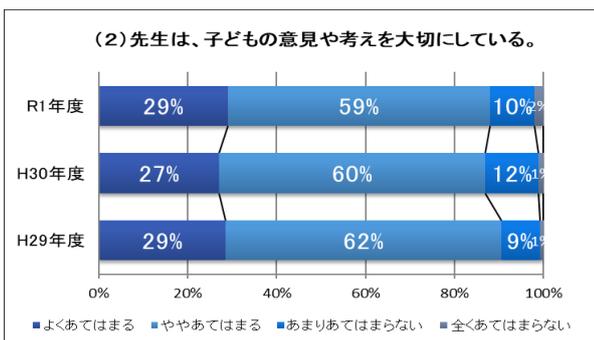


これからの急速に変化していく社会を生きぬく力を生徒たちに身につけてもらうために、授業内外において学校では、新学習指導要領に則ったうえで、冒頭に述べました「目指す生徒像」実現に向けて学校運営を行っております。この「生徒像」にありますように、「自ら学ぶ（向かう）意欲」が今後の社会を生き抜くうえで大きな要素になります。(27)「家庭学習週間にはスマホやテレビ、漫画などの時間を減らして学習した」において昨年比較で+5ポイント肯定的意見が増加しております。「全くあてはまらない」という回答も7ポイント改善しており、今後も自ら目標に向かって、努力できる生徒の育成に向けて、取り組みを継続してまいります。

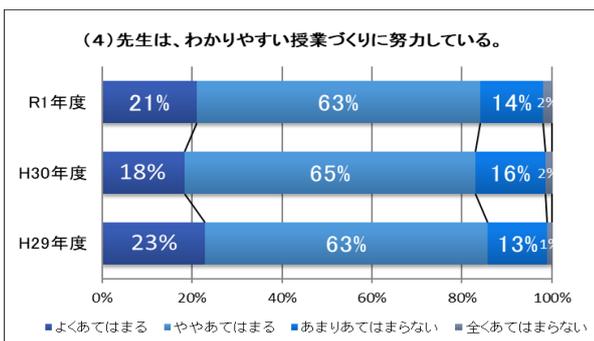
Ⅱ. 保護者アンケートより



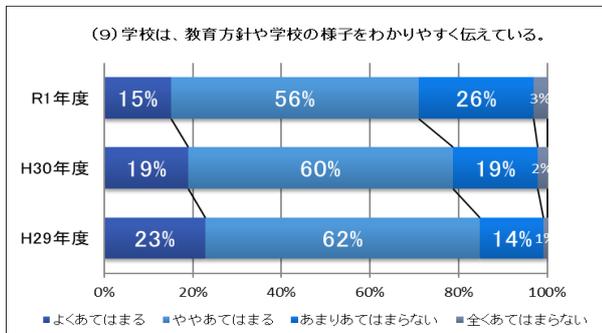
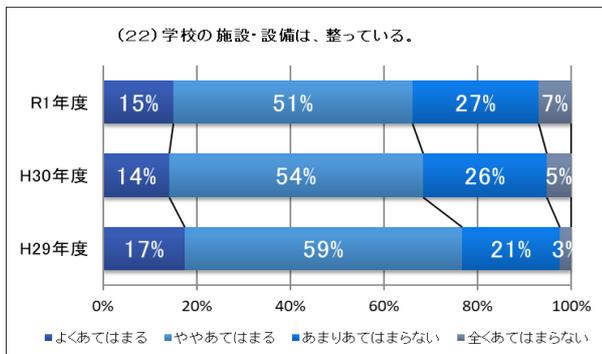
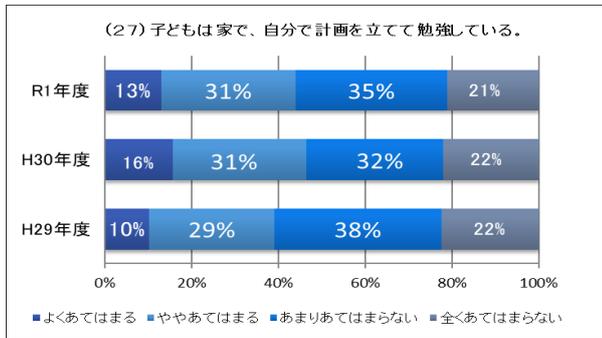
(1)「子どもは、楽しく学校へ行っている」、(2)「先生は、子どもの意見や考えを大切にしている」の回答結果は、生徒アンケートにおける(1)、(2)とほぼ同じ9割の肯定的意見をいただく結果でした。保護者の皆様がしっかりお子様の様子を見ておられたり、コミュニケーションをとっておられたりした結果で、このような生徒アンケートと同じ傾向の数値結果が出たものと考えております。



今後といたしましては、前述しました生徒アンケートの結果同様、否定的意見の1割の生徒たちへの対応を含め、生徒に寄り添い、彼らの意見、考えを認めながら、成長へと促す指導方法を教員一丸となって実践していきたいと考えております。



続いて授業、家庭学習について報告いたします。(4)「先生はわかりやすい授業づくりに努力している」の回答結果は生徒回答とほぼ同じ結果となりました。(27)「子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している」については肯定的意見が44%と半数を下回っています。生徒アンケートでの質問が「テスト期間中、学習しましたか?」ですので、この回答における肯定的意見82%と比較すると「テスト前は勉強する



ルメールなどの電子媒体を活用して、広く保護者をはじめ地域の皆様に情報発信できるよう改善を図りたいと思います。

③ おわりに

貴重な時間を割いて、本校の教育にご意見を寄せていただきありがとうございました。いただいたご意見は今後の学校経営改善に活用してまいります。なお、今回紙面の都合上、掲載できなかったグラフを本校ホームページにアップしています。こちらもお覧下さい。また、個別に文章表記をいただいたご意見につきましては、全学年分を全教職員が情報共有するとともに、今後の教育活動の参考とさせて頂き、可能な限り学校運営に反映させてまいります。

急速に発展して行く社会の中で、本当に誰も体験したことの無い未来が待っています。そんなこれからの社会を生き抜く子どもたちを、たくましく育てて行くには学校とご家庭の協力は必須です。どうぞ今後ともご協力お願いいたします。

けど、それ以外は家庭学習していない」、「時折、勉強しているけど、計画的とは言えない」という状況が想像されます。学校では、前述しましたが「自ら学ぶ(向かう)意欲」の育成を重点としております。そのため、家庭学習のために単純に宿題を増やすなどの手法ではなく、時間はかかるかもしれませんが、「自ら目標に向かうための家庭学習」に必要性を感じるような声掛け、支援を行っていきます。なお、枚方市の公立小中学校では枚方市家庭学習用サイト「プリントひろば」「タブレットドリル」が使えます。お子様の家庭学習のツールの一つとしてご活用いただければと思います。

最後に、アンケート結果から課題と受け取れる点について報告します。(22)「学校の施設・設備は、整っている」(9)「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」の2点において、3年連続で肯定的意見が減少しています。前者においては関係機関と相談しながら、少しずつになるかと思いますが、必要箇所の優先順位をつけ改善していきたいと思えます。また、後者につきましては学校から配布するプリントだけでなく、学校ホームページや杉中ブログ、ミ